



「再生可能エネルギー電源とどうつきあうのか？」

-電力システムから見た再生可能エネルギー電源導入-

馬場 旬平 准教授

Junpei Baba

先端エネルギー工学専攻

近年、再生可能エネルギー電源が注目を集めていて、更なる普及を目指した様々な取り組みが行われています。このような電源は今まで存在していた電源とは大きく性質が異なるため、そのまま大量に導入されると電気を安定的に供給出来なくなる恐れがあります。そこで再生可能エネルギー電源を大量に導入したときに懸念されている問題点について分かり易く説明して課題を整理します。特に現在、大量導入が検討されている風力発電と太陽光発電について着目し、課題解決に向けた取り組みや研究事例について分かり易く紹介します。



「記憶の仕組みを知る」

久恒 辰博 准教授

Tatsuhiro Hisatsune

先端生命科学専攻

「記憶」とは、ある情報を記録し・蓄え・想起する一連のプロセスを指します。記憶は、単に過去のことを覚え思い出すことに留まらず、過去の出来事に照らし合わせ未来の行動を決めていくために使われていることもわかってきました。一旦記憶できた情報を半永久的に保存し活用することができればよいのですが、多くの記憶情報は時の移ろいと共に消滅する傾向にあります。記憶研究は記憶する力（記憶能力）が低下した患者や動物モデルをつぶさに観察することを通して行われ、これまで多くの知見が得られてきましたが、まだ、多くの疑問も残されています。記憶能力は病気に限らず加齢によっても低下しますが「加齢による記憶機能の低下と、病気による記憶機能の低下は、関連しているのか？あるいは全く無関係なのか？」、このような素朴な疑問に対し科学はまだ明確な答えを準備できていません。また、生命現象である「記憶」は、計算機が行う「記録」のようにスタティック（静的）ではなく、むしろ流動性のある動的な現象のようにも思えます。当研究室でモデルマウス研究から得られた結果にもふれ、記憶の仕組みについて解説を行います。



「水をめぐる国家間の確執は戦争を引き起こす？」

中山 幹康 教授

Mikiyasu Nakayama

国際協力学専攻

複数の国の領土を流れる川を「国際河川」と呼びます。世界には270前後の国際河川があり、その水資源を巡る関係国の確執が古くから生じています。最近では、インド、中国、バングラデシュ、ブータンの4か国が共有するブラマプトラ川で、中国が計画しているダム建設に対して、インドが懸念を表明したことに端を発して、両国間で確執が生じました。元国連事務総長など何人かの識者が、水を巡る「水戦争」が国家間で発生する可能性を示唆しており、「21世紀には、石油ではなく水資源の国家間での争奪が戦争を引き起こすだろう」と警告する識者も居ます。講演では、国際河川の賢明な管理と「水戦争」の可能性について解説します。

「新領域は解明し、解決する」

解決する

および入試説明会

東京大学大学院 新領域創成科学研究科講演会



東京大学大学院 新領域創成科学研究科

GRADUATE SCHOOL OF FRONTIER SCIENCES THE UNIVERSITY OF TOKYO

上の図は新領域創成科学研究科のロゴで、研究科がめざす新しい学問領域への成長性と、諸学問同士のネットワークを、木の枝の広がりイメージに託したものです。我々はこの新たな領域に果敢に挑戦するため、「学融合」を基本理念に研究・教育活動を行っています。この挑戦は決して楽なものではありませんが、刺激に満ちた楽しいものでもあります。本講演会では3人の講師が自身の研究の一端を紹介しつつ、研究の楽しさを語ります。

また、本研究科に入学を希望される方は、講演会に引き続き入試説明会にご参加ください。

日程 平成25年4月20日(土)

場所 千里ライフサイエンスセンター5F ライフホール

スケジュール

12:30-14:00 【特別講演会】

「再生可能エネルギー電源とどうつきあうのか？」

-電力システムから見た再生可能エネルギー電源導入-

馬場 旬平 准教授 (先端エネルギー工学専攻)

「記憶の仕組みを知る」

久恒 辰博 准教授 (先端生命科学専攻)

「水をめぐる国家間の確執は戦争を引き起こす？」

中山 幹康 教授 (国際協力学専攻)

14:10-17:00 【大学院入試説明会】

研究科の特色、各専攻の研究内容、入試案内

【専攻個別相談 (希望者)】



大阪府豊中市新千里東町 1-4-2
御堂筋線 千里中央行 終点・千里中央下車

詳しい地図を見る

【お問い合わせ先】

東京大学大学院新領域創成科学研究科 教務係

〒277-8561 千葉県柏市柏の葉 5-1-5 基盤棟 1階

TEL:04-7136-4092 FAX:04-7136-4010

E-mail:k-kyomu@kj.u-tokyo.ac.jp

http://www.k.u-tokyo.ac.jp/

事前申込・参加費は不要です。当日会場まで直接お越しください。